



FIT終了後に向けての今後の取り組み

6月7日総会の前に、NPO法人自然エネルギー市民共同発電所事務局長・中村庄和さんに「FIT終了後に向けての今後の取り組み」というタイトルでお話いただきました。

豊中市民エネルギーの会が設立したあっぷるおひさま発電所は、2027年2月で10年を迎え、FIT（固定価格買取制度）による買取期間が終了します。そのあとをどうするかを考える参考に講演をお願いしたものです。当日は蛸池学園の泉潔理事長にもお越しいただき聞いていただきました。



中村庄和さん（左）と泉潔理事長（右）

講演では、FIT終了後の選択肢は2つ、「電気自動車・蓄電池・エコキュートを組み合わせて全部自家消費する」か、「事業者に対処・自由契約で余剰電力を売電する」か、という話でした。

卒FIT後の選択肢は2つ



相対・自由契約の売電先の小売電気事業者としては、大阪府に25社ほどありますが、安定しているのは、大阪ガスか、関西電力でしょうとのこと。関電と大阪ガスの買取制度の例を示します。FITによる買取価格は1 kWhあたり31円ですが、FIT後はおよそ8円になることが分かります。

買取期間が終了する太陽光発電からの余剰電力買取について ～関西電力が太陽光発電からの余剰電力を買い取ります～

2009年11月より開始した太陽光発電の余剰電力買取については、法律で買取期間が10年と定められており、2019年11月から、売電開始後10年を経過した太陽光発電は売電契約が終了します。

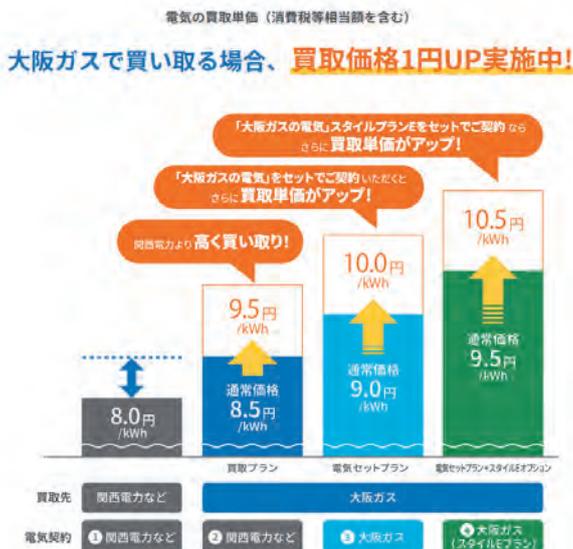
10年間の買取期間が終了した太陽光発電について、当社は買取期間終了後も引き続き、余剰電力の買い取りを行います。

〇買取条件

買取単価	8.00円/kWh
契約期間	買取期間終了の翌日から翌4月の検計日の前日まで（以降、1年毎の自動更新）
対象エリア	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県（一部を除きます。）、福井県の一部、岐阜県の一部、三重県の一部

※買取単価は、今後、見直しとなる場合があります。買取単価には消費税等相当額を含みます。なお、消費税率は10%にて計算しております。

その他のご契約条件については、「再生可能エネルギー発電設備からの電力供給契約要綱」によります。



何もしないとどうなるか？小売り電気事業者と売買契約を結ばないと、買取者不在のため余剰電力を一般の送配電事業者が無償で引き受けることになるとのことでした。

パワコンの寿命は15年程度で、2つを交換すると35万円くらいかかりますが、太陽光パネルの寿命は20～30年持つので、長く使うほどメリットが大きいです。（浦野）

泉理事長のコメント

FIT終了後は、あっぷる発電所の管理運営を引き継ぎます。何か困ったときにはよろしくお願いします。

第12回通常総会の報告

第12回通常総会は2025年6月7日（土）、とよなか男女共同参画推進センターで、午後1時半から、「FIT終了後に向けての今後の取り組み」の学習会を終え、あっぷるこども園の泉理事長も参加して下さって、3時からおこなわれました。

会員31人、出席者14人、委任状9通で、過半数を超え総会は成立。

1, 2, 3号議案は全員賛成で成立、4号議

案・2025年度活動予算承認の議案については、会計から、FIT終了に向けて、次年度、協力金の一括返金について提案が出されました。

前段の、FITの学習会の時には、発電状況は大変よく、年間大体28万円程度の売電収入があるのでこの10年間で280万円ほどになる見通しで、一括返金は可能ですとの説明もありました。

また、意見交換では、今話題になっている「ペロブスカイト」の見学会を実施したいという意見も出ました、他団体と協力してこの見学会ができればいいと思いますので、皆さん情報を集めてください！（衛藤）



「じぶん発電」こんな工夫がいいなあ！ 2

「じぶん発電」で野菜づくりに挑戦・究極のSDGS！！

(豊中市在住 石崎梨乃)

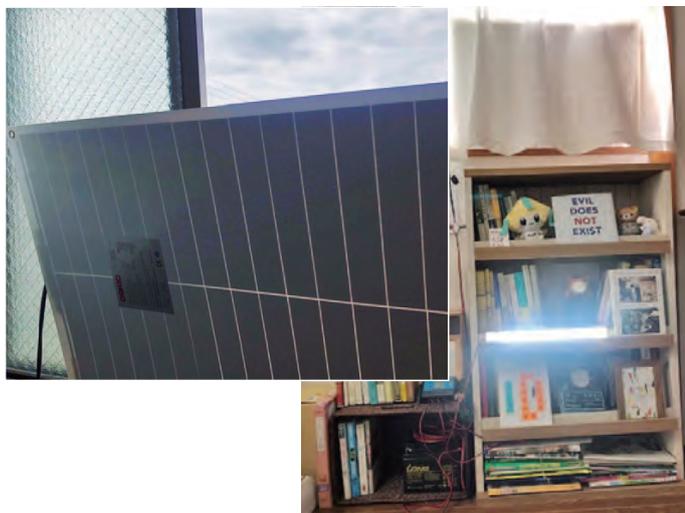
石崎梨乃さんは、「自産自消のできる社会へ」をスローガンにする会社で働いています。それで、「じぶん発電」の講座を受け設置し、そのスローガンを実践しているのです。今の時代、エネルギーも自産、食料も自産できればサバイバルに生きていけます！ その取り組みを紹介します。

そういえば、最初に石崎さんに出会ったときのお土産は、自産の大きななすびでした。

【記録】

2024年9月

太陽光発電を設置。



2025年2月下旬

1回目の種は発芽せず。2回目の播種。その後、発芽。



2025年2月上旬

保温マットを整備。ピーマンの播種。
太陽光で発電した電力で、保温マットを温めて、育苗。夜間はLEDライトで光が当てられる。ピーマンは嫌光性なので、LEDは発芽してから使用予定。
自家発電の自然エネルギーで育苗できるのは嬉しい！



2025年5月

豊中市の市民農園にピーマン、ナス苗を定植。

現在

ピーマンは暑さであまり上手く育たず、ナスもあまり元気ではないが、小さいものが幾つか収穫できた。

自分の身体に入る食べ物を自給すること、そしてそれに関わるエネルギーも自給することで、他者に依存するだけでない新しい暮らしが出来ることと信じている。



ピーマンの苗



ナス

生活協同組合コープこうべの 「虹っ子スクール」で 「おひさまとなかまたち！」の紙芝居で 環境問題を学習しました！

「虹っ子スクール」とは、コープこうべ・独自のスクールで、毎年小学生を募集し、1年を通して農作業に参加したり、手話を学習したり、平和や環境問題を学習したりしています。昨年の環境展で関係者と出会いこの取り組みが実現しました。

2025年7月12日（土）10時～11時半、豊中市のコレル桜塚で、小学生8人とそのファミリー等の15人の参加でした。

まず、「おひさまとなかまたち」の紙芝居で、電気は、お日さまや風、水でもできるということをお伝え、地球温暖化で困っている白熊やペンギンの話に広げました。そのあとは、出前授業で使っている、A・Bの絵カードで「どちらがエコの家」かを考え、この夏休みに、家でできそうな自分の取り組みにつながるようにしました。参加者の中で2人の保護者から「太陽光発電」を設置し発電量は4kwh～5kwhという頼もしい報告もありました。

そのあとLEDキーホルダーの工作をし集合写真撮りました。

参加者は2年生が6人、3年生が2人、5年生が1人で、低学年には少し難しかったかな。

でもそこは保護者の補助でファミリーでの話し合いがうまくいけばいい取り組みになると思いました。（衛藤）



ワタシらのミライ OSAKA 気候アクションウィーク2025

世界気候アクション in 大阪

とめよう！地球温暖化

9.20(土) <参加無料,部分参加OK>

14:00~15:45 映画&トーク *大阪弁護士会館 & Zoom 事前申込制 (夜面)

16:15~17:30 マーチ *参加フリー

PEOPLE POWER 気候変動と日本11

ワタシらの気候アクション

ゲストや参加団体の取組紹介トークできることを考えるヒントに！

<会場ゲスト>
堀之内米登さん
立命館大学4期生
若者気候訴訟原告
ほか

気候変動に、それぞれの立ち位置から解決に向けて動く人びとの姿から私たち一人ひとりができることのヒントを探るドキュメンタリーフィルム (25分)

マーチ

16:15 大阪市中央公会堂前
↓
17:30 西梅田公園

<聴き物欲！部分参加OK！>

おすすめ！自然エネルギー100%

連絡先：世界気候アクションin大阪 実行委員会（ワタシらのミライ・大阪事務局 地球環境市民会議内）
TEL.06-6910-6301（平日10:30～16:30） mail:office@casa1988.or.jp

特定非営利活動法人・豊中市民エネルギーの会
連絡先 560-0034 豊中市蛸池南町3-2-11-105
電話 06-6843-3568 (FAXも同じ)
メール masumi-e@hotmail.co.jp
郵便振替 口座記号番号 00920-2-332550
加入者名 豊中市民エネルギーの会